

2016年度

慶應義塾大学入学試験問題

経済学部

地理歴史（世界史）

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いたり、裏返したりしてはいけません。
2. 地理歴史（世界史）の問題冊子は全部で16ページ（問題は2ページから15ページまで）です。試験開始の合図とともに全てのページが揃っているか確認してください。ページが抜けていたり重複するページがあったら、ただちに監督者に申し出てください。
3. あなたが出願時に選択した地理歴史の科目は世界史です。出願時に選択した科目を変更することはできません。
4. 解答用紙は1枚で、解答を記入する欄は〔解答欄A〕と〔解答欄B〕に分かれています。解答は、問題の指示にしたがってそれぞれの解答欄に記入してください。また、解答用紙に記載された注意事項も必ず読んでください。
5. 解答用紙には、氏名を記入する欄が1カ所、受験番号を記入する欄が3カ所あります。
6. 問題冊子の余白は下書きに用いてもかまいません。ただし、1ページ目と16ページ目には何も書いてはいけません。
7. 解答用紙の余白、採点欄および裏面には何も書いてはいけません。
8. 試験終了後、問題冊子は必ず持ち帰ってください。

I 中東地域の歴史について述べた次の文章を読み、以下の問1～問9に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の〔解答欄 A〕の所定の欄に記入しなさい。

アラビア半島で7世紀に興ったイスラーム教は、地中海沿岸地域からアフリカやアジアへと広く普及した。これらすべての地域にまたがる巨大な帝国を築いたのが A オスマン帝国である。オスマン帝国が繁栄をきわめた16世紀以降、アジアの他の地域においても強大なイスラーム国家が成立し、B それぞれの地で独特のイスラーム文化が開花した。

17世紀末になると、オスマン帝国内諸地域における独立に向けた動きやヨーロッパ列強の進出も活発になり、帝国の領土はしだいに縮小していった。衰退の危機に直面したオスマン帝国は、19世紀に入ると C タンジマートと呼ばれる改革によって西欧的近代化をめざすようになり、立憲運動も高揚した。D 近代化や立憲運動といった動きはアジアの他の地域にもみられた。

オスマン帝国は、第一次世界大戦に参戦して敗北した後トルコ革命によって消滅し、旧オスマン帝国領では、E 民族運動や独立運動が高揚した。しかし、大戦期のこの地域をめぐる列強の外交政策が、その後の F パレスチナ問題のような複雑な問題を生み出した。

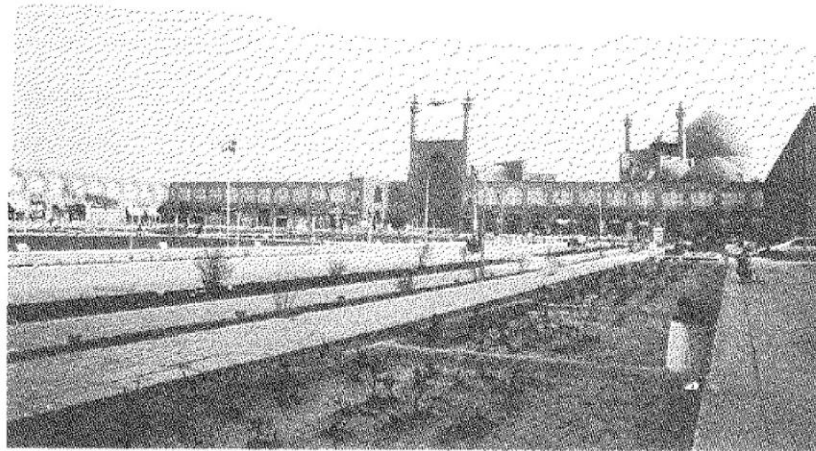
新たなエネルギー源としての石油の需要が増大すると、20世紀には、大規模な油田開発の可能性をもつ中東地域に対する G 先進工業国の関心が急速に高まっていった。第二次世界大戦後、中東諸国は H 東西冷戦という新たな国際政治・軍事情勢に規定されつつ、その多くは世界経済の中で I 産油国として重要な位置を占めるようになった。その一方で、宗教・宗派、民族間の対立が噴出し、大国間の利害が絡み合う不安定な状態が続いている。

問1 下線部 A に関して述べた次の文章中の下線部 1～5 の中で、誤っているものを1つ選びなさい。

セリム1世は、1 ビザンツ帝国を滅ぼすと、その管理下にあったイスラーム教の聖地メッカとメディナの保護権を獲得した。以後、オスマン帝国のスルタンは、2 スンナ派イスラームの盟主としてイスラーム法に基づいた政治を行った。

スレイマン1世の治世には、オスマン帝国の領土はさらに拡大した。オスマン帝国軍はベオグラードを陥落させ、ハンガリー軍を破り、3 ウィーンを包囲した。東方にも遠征し、4 バグダードを獲得した。また、オスマン帝国海軍はプレヴェザの海戦でヴェネツィアや5 スペインの連合艦隊を撃破し、地中海の広い範囲で制海権を握った。

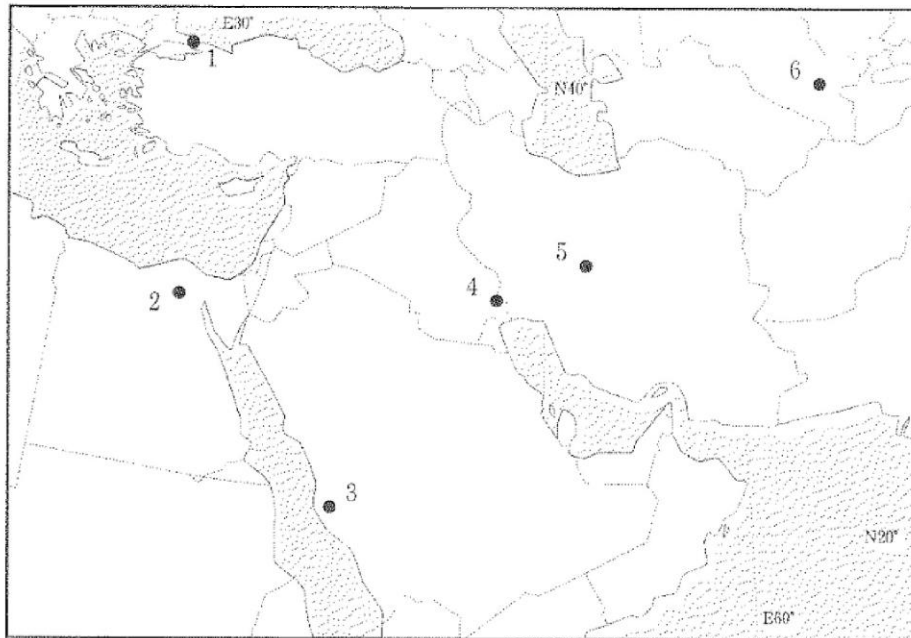
問2 下線部Bに関連して、下の写真の広場に関する以下の(1)、(2)に答えなさい。



(1) 次の文章中の空欄(a)に入る人名、(b)に入る都市名を、〔解答欄B〕の所定の欄に記入しなさい。

この広場は、(a)がその治世に新首都と定めた(b)の中心に建設された。この広場の南側にはモスクが建てられた。写真の広場後方に写っている、このモスクの装飾にはアラベスクと呼ばれる紋様が描かれ、青色を基調として色とりどりのタイルが使用されている。(b)は、政治・学問・芸術の中心としてだけでなく、生糸・絹製品の取引を中心とした国際商業都市として繁栄し、その繁栄ぶりから「世界の半分」と称された。

(2) この広場が建設された都市の位置として最も適切なものを、次の地図中の1～6の中から選びなさい。



備考：国境線は現在のもの。ただし、未確定・係争中のものもふくむ。

問3 下線部Cに関連して、次の文章を読んで、以下の(1)～(3)に答えなさい。

近代化をめざす一連の改革には海軍軍備の近代化と増強もふくまれた。その一環で、軍艦エルトゥールル号が建造された。同号は、その後スルタンとなった(ア)によって日本へ派遣されることとなった。1889年7月にイスタンブルを出航した同号は、スエズ運河から紅海を経て東進し、(a)、(b)、(c)などのイギリス領の都市を経由し、1890年5月に長崎に到着した。同号は、数ヶ月の日本での滞在の後、1890年9月に帰国の途についていたが、和歌山県沖で座礁・沈没し、多くの死者を出す大惨事にみまわれた。

(1) 上の文章中の(a)～(c)に入る地名を、次の1～8の中から選びなさい。(順不同)

- | | | | |
|-----------|-----------|---------|---------|
| 1. アデン | 2. ケープタウン | 3. ゴア | 4. コロンボ |
| 5. ジブラルタル | 6. シンガポール | 7. バンコク | 8. マカオ |

(2) 次の資料は、上の文章中の(ア)の回顧録の抜粋である(必要に応じて文章の一部を省略し、表現の一部を変更した)。このスルタンが同号の派遣を決めた理由の1つとして、この回顧録の中にあるような思想を利用し、ヨーロッパ列強に対抗しようとしたことがあげられる。この思想は一般的に何と呼ばれているか、その名称を、〔解答欄B〕の所定の欄に記入しなさい。

・・・われわれは結束を強化すべきである。中国、インド、アフリカの中央部をはじめ、全世界のムスリムたちはお互いに密接な関係になることに有効性がある。・・・わがユルドゥズ宮殿で知識ある人として高名なセイド＝ジェマレッディン*は「スンナ派とシーア派は、誠実さを示すことによって統一は可能である」と私に進言して希望をもたせてくれた。・・・

*「セイド＝ジェマレッディン」は、アフガーニーを指す。

〔資料出所〕歴史学研究会編『世界史史料』第8巻、岩波書店。

(3) 下の年表は、エルトゥールル号が日本に到着した1890年前後の東アジア情勢に関する年表である。次のa～cの出来事が起きた時期を、下の年表中の空欄1～5の中から選びなさい。(重複使用不可)

- a. 甲午農民戦争が起きた
b. 甲申政変が起きた
c. 日本が三国干渉による勧告を受諾した

1

壬午軍乱が起きた

2

日本と清が天津条約に調印した

3

日本と清が下関条約に調印した

4

高宗が皇帝に即位し、国号を大韓帝国と改めた

5

問4 下線部Dに関連して、中国における立憲制の導入に関連する次の1～5の出来事を年代の古い順に並べ替え、2番目から4番目までの番号を所定の解答欄の左から順に記入しなさい。

1. 袁世凱臨時大總統の下で、暫定憲法である中華民国臨時約法が公布された。
2. 科擧の廃止をふくむ教育改革が実施され、憲法大綱の発表や国会創設の公約がなされた。
3. 光緒帝の下で康有為ら官僚は、京師大学堂の設立をふくむ改革を試みた。
4. 宣統帝が退位した。
5. 中華民国の建国が南京で宣言され、孫文が臨時大總統に就任した。

問5 下線部Eに関連して述べた次の文章を読んで、文章中の（a）、（b）に入る地名を、〔解答欄B〕の所定の欄に記入しなさい。

第一次世界大戦に敗れたオスマン帝国は（a）で連合国との和平条約に調印した。その後、連合国の主要国は（b）で、ムスタファ＝ケマル大国民議会議長を首班とするアンカラ政府と和平条約を締結した。その条約に基づきトルコ共和国が誕生したが、新たな民族問題が顕在化した。（a）条約の内容には、オスマン帝国内で激しい独立運動が起きていたアルメニアの独立やクルド人自治区の制定と将来的な独立の可能性が盛り込まれていたが、それらの内容は（b）条約には記されなかった。

問6 下線部Fに関連して、次のa～eは、それぞれ、イスラエル独立宣言、エジプト＝イスラエル和平条約、国際連合安全保障理事会決議第242号、国際連合総会第1回緊急特別総会決議第997号、パレスチナ暫定自治協定（オスロ合意）のいずれかから抜粋したものである（必要に応じて文章の一部を省略し、表現を変更した）。a～eが宣言、調印、または決議された時期を、下の年表中の空欄1～8の中から選びなさい。（重複使用不可）

a.

第1条 交渉の目的

進行中の中東和平プロセスにおけるイスラエル＝パレスチナ間交渉の目的は、何よりもまず、パレスチナ暫定自治政府を設立すること、ヨルダン川西岸地区およびガザ地区のパレスチナ人のための、選挙で選出される立法評議会を設立することである。・・・

b.

・・・我々、イスラエルの地のユダヤ人コミュニティおよびシオニズム運動の代表である国民評議会は、イギリスによるイスラエルの地の委任統治が終了するまさにこの日に一堂に会し、・・・ここに、イスラエルの地にユダヤ人の国家を建国することを宣言する。・・・

c.

国連総会は、・・・フランス軍とイギリス軍がエジプトの領土に対する軍事行動を行っていることを踏まえ、また、スエズ運河の航行が妨害され、多くの国々に甚大な不利益となっている現状を踏まえ、・・・何よりもまず、この地域におけるすべての交戦国が即時停戦に・・・同意することを強く求める。・・・

d.

第1条 2. イスラエルは付属議定書に規定するエジプトとパレスチナ委任統治領間の国際境界線まで、シナイ半島からそのすべての軍隊及び文民を撤退させ、エジプトはシナイ半島における完全な主権の行使を回復する。

e.

安全保障理事会は、中東における深刻な状況をひきつづき憂慮し、・・・1. 国連憲章諸原則の実現には、中東における公正で永続的な和平の構築が必要であることを強く主張する。その和平実現のためには、以下の原則がどちらも適用されるべきである。

（1）最近の戦闘で占領した地域*からのイスラエル軍の撤退。

（2）交戦権の主張や交戦状態の停止と、この地域のあらゆる国の主権、領土の保全、政治的独立、認められた境界内で平和に生活する権利を尊重し、認めること。・・・

*「最近の戦闘で占領した地域」は、ガザ地区、ゴラン高原、シナイ半島、ヨルダン川西岸地区を指す。

1

国連総会でパレスチナ分割案が決議された

2

第1次中東戦争（パレスチナ戦争）が起きた

3

第2次中東戦争（スエズ戦争）が起きた

4

第3次中東戦争（六日間戦争）が起きた

5

第4次中東戦争が起きた

6

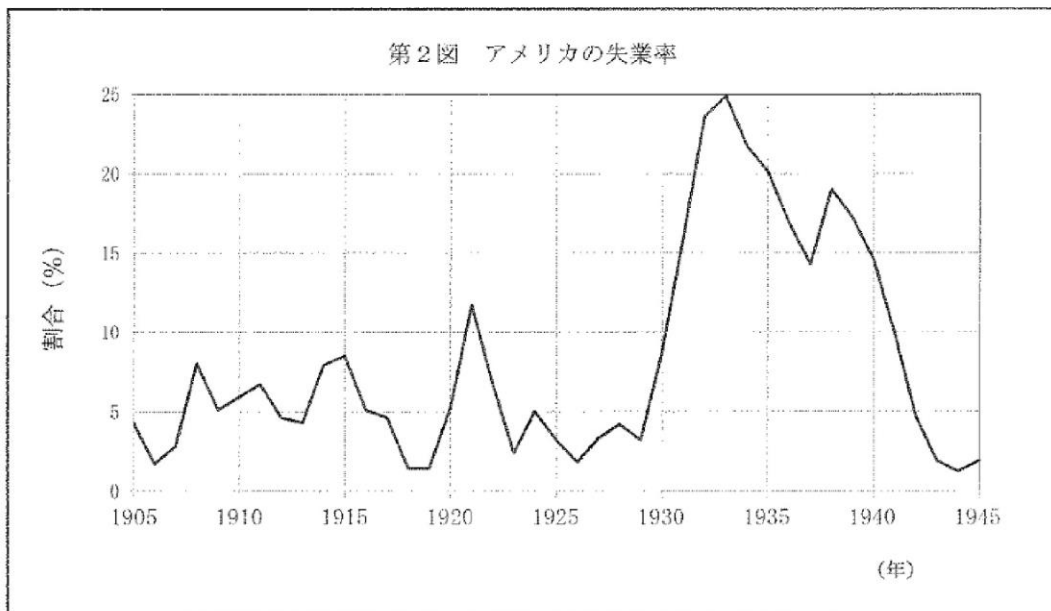
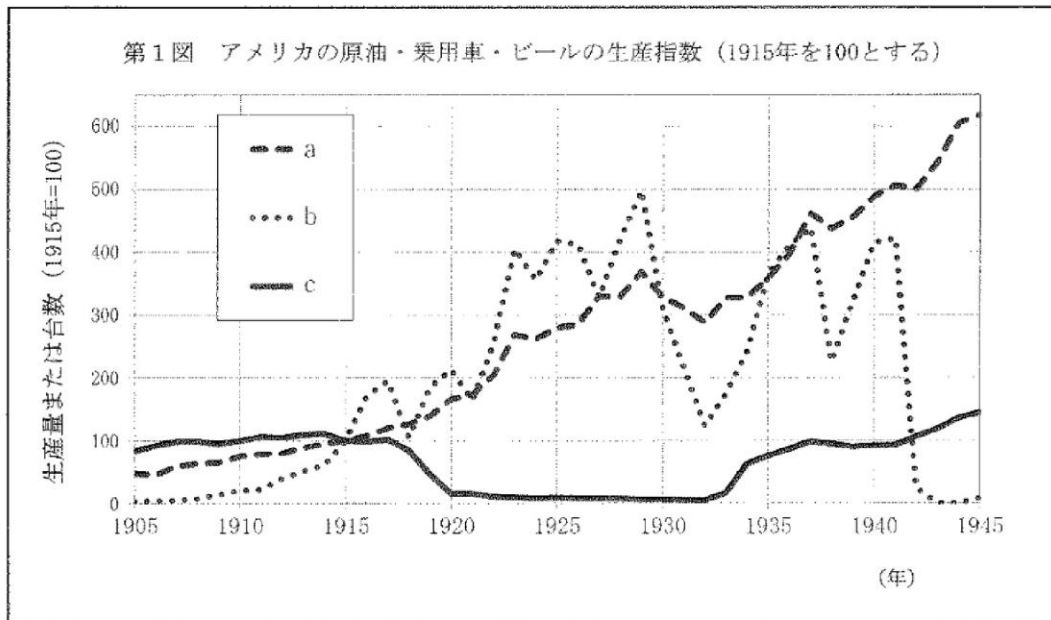
サダト大統領が暗殺された

7

ラビン首相が暗殺された

8

問7 下線部Gに関連して、第1図中のa～cは、それぞれ、1905年から1945年のアメリカにおける原油生産量，乗用車生産台数，ビール生産量のいずれかの推移を指数で示したものである。第2図は、第1図と同じ期間のアメリカの失業率の推移を示している。これらの図を見て、以下の(1)～(3)に答えなさい。



[資料出所] (第1図) B. R. Mitchell, *International Historical Statistics: The Americas 1750-2005* ;

(第2図) U. S. Department of Commerce, *Historical Statistics of the United States, Colonial Times to 1970, Part 1*より作成。

- (1) 第1図中のa～cの組み合わせとして適切なものを次の1～6の中から1つ選び、〔解答欄B〕の所定の欄に記入しなさい。

	1	2	3	4	5	6
a	原油	原油	乗用車	乗用車	ビール	ビール
b	乗用車	ビール	原油	ビール	原油	乗用車
c	ビール	乗用車	ビール	原油	乗用車	原油

[注] 原油、乗用車、ビールは、それぞれ原油生産量、乗用車生産台数、ビール生産量を指す。

- (2) 上の(1)の解答を導いた理由を、a～cのうち2つの動きを取りあげ、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

- (3) 第2図に示されているように、失業率は1933年にピークを迎えた。アメリカ政府は失業率を低下させるために、どのように雇用を増加させようとしたか、具体的な政策または事業を1つ取りあげ、それを実行した大統領に言及しながら、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

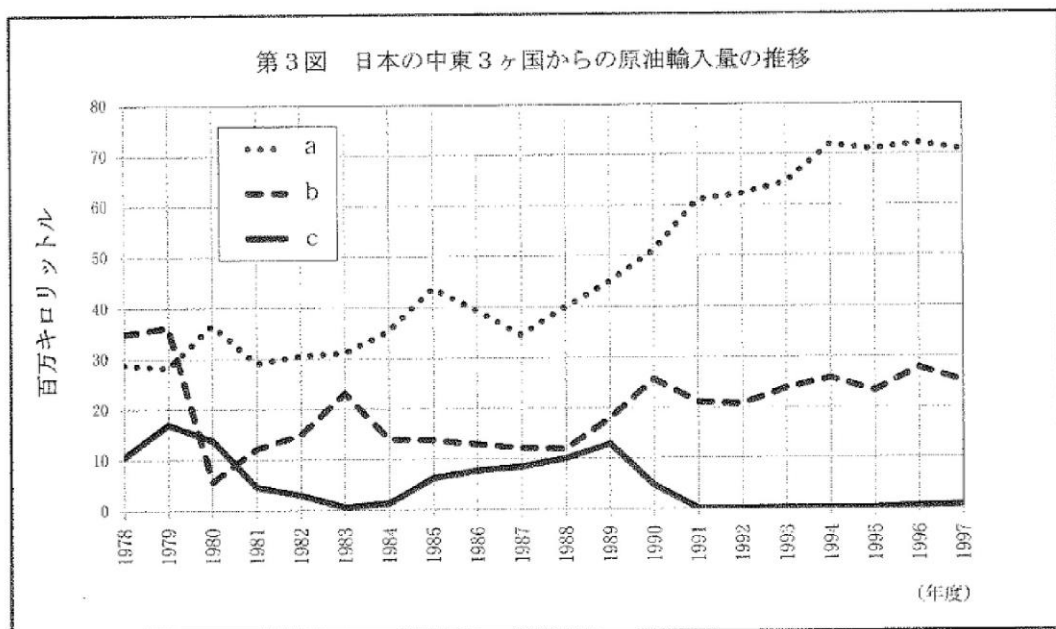
問8 下線部Hに関連して、東西冷戦の中での中東諸国の動きについて述べた次の1～4の中から誤りを含むものを1つ選びなさい。

1. イラクは、フセイン政権が誕生すると、CENTO（中央条約機構）から脱退した。
2. イランは、イギリスやパキスタンなどとともに、METO（中東条約機構）を構成した。
3. エジプト革命を指導したナセルは、第1回非同盟諸国首脳会議に出席した。
4. トルコは、ギリシャと同じ年に、NATO（北大西洋条約機構）に加盟した。

問9 下線部Iに関連して、次の(1)、(2)に答えなさい。

- (1) 次の第3図は、1978～1997年度のアラブ首長国連邦(UAE)、イラク、イランからの日本の原油輸入量の推移を表している。図中のa～cを示す国の組み合わせとして適切なものを次の1～6の中から1つ選び、〔解答欄B〕の所定の欄に記入しなさい。

	1	2	3	4	5	6
a	UAE	UAE	イラク	イラク	イラン	イラン
b	イラク	イラン	UAE	イラン	UAE	イラク
c	イラン	イラク	イラン	UAE	イラク	UAE



〔資料出所〕経済産業省「資源・エネルギー統計年報」より作成。

- (2) 上の(1)の解答を導いた理由を、この時期に中東地域で起こった出来事と結びつけて、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

Ⅱ 北欧諸国の歴史について、その対外関係を中心に述べた次の文章を読んで、以下の問10～問17に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の〔解答欄 A〕の所定の欄に記入しなさい。

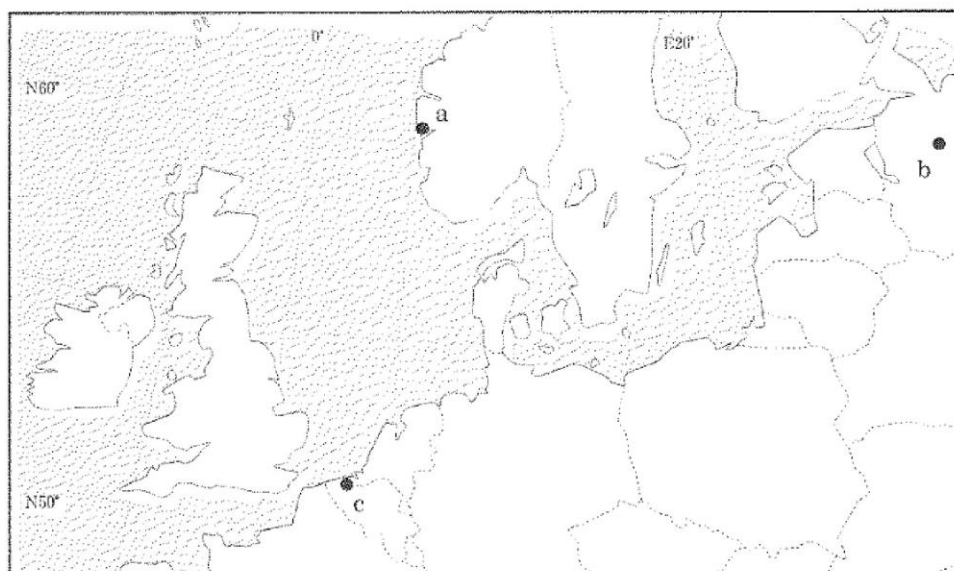
スカンディナヴィア半島やユトランド半島に住んでいたゲルマン系のノルマン人は、とりわけ8世紀後半からヨーロッパ各地に海上遠征を行う一方、原住地にデンマーク・スウェーデン・ノルウェーの諸王国を建てた。14世紀末にはこの3国の間にカルマル同盟が結ばれたが、これは当時 A 北ヨーロッパ商業圏を広く支配していたハンザ同盟 に対抗するものでもあった。

16世紀に入り、ヨーロッパに宗教改革が起きると、北欧では B ルター派の信仰が支配的になる。宗教改革はヨーロッパに数々の戦争をもたらしたが、北欧諸国もそれに参加し、とりわけ C スウェーデンは17世紀中葉にバルト海一帯における覇権を握ることとなった。だが D その覇権は18世紀以降、ロシアの手に移っていく。

19世紀に入ると、北欧諸国は、E 周辺の強国との軍事衝突を経験しつつも、中立的な平和路線を外交の基本とするようになる。この伝統を踏まえ、北欧諸国は第一次世界大戦の際には概ね中立の立場を貫いたが、第二次世界大戦では F 侵略や占領の対象となるなどして戦争に巻き込まれることが多く、さらに戦後には G いずれかの国際組織への帰属を決断することが多くなった。なお H 北欧諸国が1960年代頃から国際的な環境保護の動きに積極的に関わってきたことは特筆に値する。

問10 下線部 A に関連して、以下の(1)、(2)に答えなさい。

- (1) 地図中の a～c は、ハンザ同盟の主要な商館の所在地を示している。a～c を示す都市名の組み合わせとして適切なものを次の1～6の中から1つ選びなさい。



備考：国境線は現在のもの。

	1	2	3	4	5	6
a	ブリュージュ	ブリュージュ	ノヴゴロド	ノヴゴロド	ベルゲン	ベルゲン
b	ノヴゴロド	ベルゲン	ベルゲン	ブリュージュ	ブリュージュ	ノヴゴロド
c	ベルゲン	ノヴゴロド	ブリュージュ	ベルゲン	ノヴゴロド	ブリュージュ

(2) 次の文章中の (a), (b) に入る最も適切な語句を、〔解答欄 B〕の所定の欄に記入しなさい。

ハンザ同盟の商館はロンドンにもあった。イギリスは、中世ヨーロッパ随一の毛織物工業が発展していた (a) 地方に羊毛を輸出しており、そのためフランスがこの地方に勢力を拡大するのを警戒していた。こうした状況の下、エドワード 3 世は、母親が (b) 家の出身であったことからフランスの王位継承権を主張し、英仏間に百年戦争が始まることとなる。

問11 下線部 B に関連して、次の資料は、トーマス＝マンが1945年5月29日にアメリカ議会図書館クーリッジ講堂で行った、「ドイツとドイツ人」と題する講演からの抜粋である（必要に応じて文章の一部を省略し、表現を変更した）。この文章を読んで、以下の (1), (2) に答えなさい。

マルティン＝ルターの大偉大さになんら反対するものではありません！・・・彼は、人間の神に対する関係の直接性を回復させたことによって、ヨーロッパの民主主義を促進しました。なぜなら、「(a)」、これは民主主義だからであります。・・・彼は自由の英雄でした——ただしドイツ流に、であります。というのは、彼は自由については何も理解していなかったのですから、私がここで申し上げているのはキリスト者の自由のことではなく、政治的自由、市民の自由のことです。この種の自由に対して彼は単に冷淡だったというだけではありません。そうした運動や要求は彼にとって心の底から反感をもよおすものでした。・・・そのようにルターは農民一揆を憎みました。

〔資料出所〕 トーマス＝マン『講演集 ドイツとドイツ人 他五篇』（青木順三訳）、岩波文庫。

(1) 上の資料中の (a) に入る語句を、下の 1～4 の中から選びなさい。

1. アダムが耕しイヴが紡いだとき、誰が領主であったか
2. 祈り、かつ働け
3. 各人が自分自身の司祭である
4. なすに任せよ

(2) 上の資料中の波線部は、具体的に、どの出来事のいかなる展開に対する、ルターのどのような対応について述べているのか、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問12 下線部 C に至った経緯について、17世紀前半にスウェーデンが参戦した戦争の名称とその講和条約の名称・内容に触れながら、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問13 ド線部Dに関連して、以下の(1)、(2)に答えなさい。

(1) ロシアのバルト海一帯における覇権確立に関連する次の1～4の文章の中から、誤りを含むものを1つ選びなさい。

1. ポーランド・デンマークと結ぶピョートル1世治世下のロシアと、カール12世治世下のスウェーデンとの間で、北方戦争が戦われた。
2. 啓蒙専制君主として知られるエカチェリーナ2世の治世の間に、ロシアは3回にわたって行われたポーランド分割のすべてに参加した。
3. アメリカ独立戦争に参加した経験をもつコシェーニコは、ポーランド分割に反対する蜂起を起こしたが、その翌年には第3回分割が実現した。
4. ロシア皇帝アレクサンドル1世は、ウィーン会議の結果、ワルシャワ大公とフィンランド大公を兼ねることとなった。

(2) ロシアは、バルト海周辺地域だけでなく、東方にも進出していった。このことに関連する次の1～4の出来事を年代の古い順に並べ替え、所定の解答欄の左から順にその番号を記しなさい。

1. イェルマークがシベリアに遠征した。
2. ラクスマンが外交使節として日本に派遣された。
3. ロシア・清間にキャフタ条約が結ばれた。
4. ロシア・清間にネルチンスク条約が結ばれた。

問14 下線部 E に関連して、とりわけプロイセンの動きは北欧に重大な影響を及ぼした。次の資料は、ビスマルクが 1862 年 9 月 30 日にプロイセン議会の予算委員会で行った演説の一部である（必要に応じて文章の一部を省略し、表現を変更した）。これを読み、以下の（１）～（３）に答えなさい。

α ドイツが重視しているのは、プロイセンの自由主義ではなく、プロイセンの力である。・・・プロイセンはその力を統合・結集して、これまで幾度か逸してしまった好機に備えなければならない。・・・現在の大問題は（ a ）と（ b ）によって解決されるものなのであり、β 言論や多数決によって解決を見るものではない——この点で 1848 年および 1849 年は大きな過ちを犯したのである——。

〔資料出所〕 Bismarck, *Die gesammelten Werke*, Band 10.

（１） 上の資料中の波線部 α に関連した次の文章中の下線部 1～5 の中から、誤りを含むものを 1 つ選びなさい。

シュレスヴィヒ・ホルシュタイン両公国にはドイツ系住民が多く、19 世紀には、これらの住民によるデンマークからの分離運動がしばしば高まった。こうした状況の下、デンマークが 1863 年にシュレスヴィヒ併合に乗り出すと、1 プロイセンはオーストリアと結んでデンマークと開戦し、シュレスヴィヒ・ホルシュタインを獲得した。
2 この両公国の帰属をめぐる起きた普仏戦争にプロイセンが勝利すると、ドイツ連邦は解体され、プロイセンを盟主とする北ドイツ連邦が成立した。さらにプロイセンは、3 ス페인王位継承問題をきっかけに起きた普仏戦争にも勝利し、4 オーストリアやバイエルンを排除する形でドイツ帝国の建設を成し遂げた。一方、普仏戦争に敗れたフランスはドイツに5 アルザス・ロレーヌの大部分を割譲した。

（２） 上の資料中の（ a ）、（ b ）には、漢字一字ずつが入る。それらを、〔解答欄 B〕の所定の欄に記入しなさい。（順不同）

（３） 上の資料中の波線部 β に関連して、1848 年から 1849 年にかけてのフランクフルト国民議会を中心としたドイツ統一運動の経緯と帰結について、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問15 下線部 F に関連して、第二次世界大戦におけるフィンランドのソ連およびドイツとの関係を、スターリングラードの戦いが始まるまでの時期について、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問16 下線部 G に関して述べた次の 1～4 の文章の中から、誤りを含むものを 1 つ選びなさい。

1. NATO（北大西洋条約機構）発足当初、デンマークとノルウェーはこれに加盟したが、スウェーデンとフィンランドは加盟しなかった。
2. EEC（ヨーロッパ経済共同体）発足に対抗して、イギリスはデンマーク・ノルウェー・スウェーデンなどと EFTA（ヨーロッパ自由貿易連合）を結成した。
3. イギリスは、デンマーク・ノルウェーとともに EC（ヨーロッパ共同体）に加盟した。
4. マーストリヒト条約発効後、スウェーデンとフィンランドは EU（ヨーロッパ連合）に加盟した。

問17 下線部 H に関連して、次の文章中の (a) に入る語句、(b)、(c) に入る都市名を、〔解答欄 B〕の所定の欄に記入しなさい。

1972年にはストックホルムで国連人間環境会議が開かれたが、これは環境問題に関する最初の本格的な国連会議であった。1984年には、国連環境と開発に関する世界委員会が設立されたが、その委員長ブルントラントはノルウェー初の女性首相となった人でもあった。この委員会は1987年の報告書『われら共有の未来 Our Common Future』で「(a) な発展」という理念を提唱することとなる。国連人間環境会議から20年目の1992年には、国連環境開発会議（地球サミット）が (b) で開かれたが、この会議で採択された宣言には「(a) な発展」の理念が盛り込まれることとなった。またこの会議では地球温暖化防止のための気候変動枠組条約も採択され、この条約の第3回締約国会議（COP3）は (c) で開かれた。この会議で採択された (c) 議定書は、アメリカが批准を拒否したものの、ロシアが批准して発効した。第15回締約国会議（COP15）はコペンハーゲンで開かれ、アメリカと中国を加えた枠組みの形成が目指されたが、実現しなかった。

